

2020年8月7日

保護者の皆様へ

上越教育大学長 川崎直哉

保護者の皆様におかれましては、日頃から本学の教育研究活動に対しご理解をいただき、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大といういまだ経験したことのない事態の中で、4月当初から休止しておりました授業を、5月11日からインターネットを使ったオンライン授業のみで開始し、感染への安全を確保しつつ、6月1日から実験・実習・実技などを中心に必要なに応じて対面型授業も開始しました。現在は、オンライン授業と対面型授業を併用している形で授業を行っており、学生の皆さんには従来とは異なる対応でご苦勞をおかけしている状態です。そのような中で、キャンパスの様子も見かけ上は、ほぼ定常状態に戻りつつありますが、最近の関東地区を中心とした感染者の増加もあり、今後も注視しながら適宜対応していくつもりですので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、これからお盆ということもあり、故郷や実家に帰省する学生の皆さんもあろうかと思えます。8月5日には、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会から「お盆における帰省等のあり方について（別添参照）」提言もなされています。故郷で楽しい時間を過ごした後、本学に戻ってきて直ちに教育実習等を行う学生さんも多く、またご本人は教育実習等がなくとも、そのような学生の皆さんと接する機会も多いと考えられます。

教育実習等は学校現場に出向くことから、実習生全員が感染していないことが絶対条件となり、大学としてもそれを極めて重要なことと考え、全学を挙げて感染防止の対策を取っております。保護者の皆様におかれましても、お子様達が帰省された場合にはその間「新しい生活様式」を実践していただき、飲酒を伴う多人数での会食やライブハウスなどの密閉されたイベントの参加など、感染には特に気をつけて生活されるよう、ご確認・ご指導頂けますと幸いです。

上記のことについては、学生の皆さんに対して大学でも周知徹底しておりますが、その上で取り越し苦勞かもしれませんが、念のため保護者の皆様にもお願いする次第です。後期授業開始までは少し時間があるため、教育実習等が無い学生さんは少し長く故郷に留まる場合もあるかもしれません。その場合にも後期授業の開始に向けて、同様の対応をお願いしたいと思います。

この新型コロナウイルス感染症はいつ収束するか先が見えない状況です。場合によっては今後、事態が悪化する場合もあるかもしれませんが、大学として事態の進行状況に即時対応し、学生の皆さんの命と健康・安全を守ることを第一に、高等教育機関としての教育・研究に関する使命を果たしていく所存です。保護者の皆様が安心してお子様達を本学にお送りいただくことができますよう、大学としてもできる限りの対応をさせていただきますこととお約束いたします。ご理解とご助力を頂きましたなら幸甚です。

## お盆休みにおける帰省等のあり方について

令和 2 年 8 月 5 日  
新型コロナウイルス  
感染症対策分科会提言

お盆休みの時期が迫っている中、次の分科会開催を待たず、私どもとして政府に対し、以下、提言を行うこととしました。

### 【提言】

もうすぐお盆休みです。多くの方が帰省をお考えになっているかと思います。お盆休みに帰省した場合、高齢者と接する機会や飲酒・飲食の機会も多くなることが考えられます。したがって、新型コロナウイルス感染が広がっている現状では、帰省する場合には、「基本的感染防止策(手指消毒やマスク着用、大声を避ける、十分な換気など)」の徹底や三密を極力避けるとともに、特に大人数の会食など感染のリスクが高い状況を控えるなど、高齢者等への感染につながらないように注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合には、感染が収まるまで当分の間、オンライン帰省を含め慎重に考慮していただきたいと思います。また、そもそも、発熱等の症状がある方は、帰省は控えて下さい。感染リスクが高い場所に最近行った方は、慎重に判断して下さい。

以上のメッセージを政府として国民に是非発信していただく必要があると考えています。